



2021年10月29日

各 位

会 社 名 株式会社クエスト
 代 表 者 名 代表取締役 社長執行役員 岡 明男
 (コード番号: 2332 東証 JQ S)
 問 合 せ 先 取締役 上席執行役員 小泉 裕
 (電話番号: 03-3453-1181)

**2022年3月期第2四半期(累計)業績予想と実績値の差異
 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ**

2021年7月26日に公表した2022年3月期第2四半期(累計)の業績予想と実績値に差異が生じたので、以下のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、2022年3月期通期業績予想につきましても、以下のとおり修正することとしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期第2四半期(累計)業績予想と実績値との差異(2021年4月1日~2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,735	346	365	250	48.20
実績値(B)	5,759	447	472	328	63.28
増減額(B-A)	24	101	107	78	—
増減率(%)	0.4	29.4	29.3	31.3	—
(参考)前年同期実績	5,277	379	398	273	52.86

2. 2022年3月期通期業績予想数値の修正(2021年4月1日~2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,815	752	789	540	104.10
今回修正予想(B)	11,860	888	932	646	124.55
増減額(B-A)	45	136	143	106	—
増減率(%)	0.4	18.1	18.1	19.6	—
(参考)前年同期実績	11,181	879	917	636	122.77

3. 差異及び修正の理由

当第2四半期（累計）におきまして、売上高は、既存顧客を中心に半導体分野顧客、金融分野顧客、エレクトロニクス分野（半導体を除く。）顧客へのサービスが拡大しました。

利益については、増収効果及び業務改善活動等により、営業利益、経常利益、四半期純利益のいずれにおいても業績予想を上回る結果となりました。

2022年3月期通期の業績予想につきましては、第2四半期（累計）までの業績を踏まえたいうえで、売上高は118億60百万円、営業利益は8億88百万円、経常利益は9億32百万円、当期純利益は6億46百万円にそれぞれ上方修正します。

新型コロナウイルスのワクチン接種が加速し、経済活動の回復、正常化の兆しが見込まれる中、顧客のテレワーク環境、BCP対策によるインフラ整備投資の増加に加え、クラウド化、デジタル化をトリガーとするDXが加速することが期待されます。一方で、半導体の需給バランス問題や円安進行による原材料・仕入価格の上昇等の影響により顧客企業の経営状況が悪化した場合、新規案件の獲得への影響やIT投資抑制の動きが予想されます。

当社としましては、中長期ビジョン「Quest Vision2030」に掲げた目標に向かって投資を着実に実行しながら、お客様と一層の連携強化を進め、売上の拡大、業務改善等による利益率の改善及び経費支出の削減等により、今期計画の達成と持続的な成長に向けた投資に引き続き注力していきます。

(注) 上記の業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

以 上